

# 過去問プラス<sup>PLUS</sup> 数的推理 No. 10

国税専門官 2011 集合算

難易度 ★★★

重要度 ★★



参考項目 数的推理ザ・ベスト プラス #15

## 問題

会社の採用面接に来た 10 人に、中国語、スペイン語、韓国語を話することができるかを尋ねたところ、次のことが分かった。このとき確実にいえるのはどれか。

- 韓国語を話せる人は中国語かスペイン語の少なくとも一方は話せる。
- 中国語と韓国語の二つのみを話せる人がおり、その人数は中国語とスペイン語の二つのみを話せる人の数と同じである。
- 中国語を話せる人は 5 人、スペイン語を話せる人は 6 人、韓国語を話せる人は 3 人である。
- 三つすべての言語を話せる人は 2 人である。

1. 中国語を話せない人は韓国語も話せない。
2. スペイン語を話せる人のうち韓国語を話せる人と話せない人の数は同じである。
3. 三つの言語のいずれも話せないのは 3 人である。
4. 三つの言語のうちいずれか二つのみを話せる人は 4 人である。
5. 三つの言語のうち中国語のみを話せる人は 2 人である。

## 解説

3, 4 番目の条件より、**韓国語を話せる人は 3 人で、そのうち 2 人が 3 つすべての言語を話せるわけですから、2 番目の条件にある「中国語と韓国語の 2 つのみを話せる人」は 1 人とわかります。**  
これより、「**中国語とスペイン語の 2 つのみを話せる人**」も 1 人となり、ここまでを表 1 のように整理します。

# 過去問プラス PLUS 数的推理 No. 10

表 1

	中国語	スペイン語	韓国語	人 数
ア	○	○	○	2
イ	○	×	○	1
ウ	○	○	×	1
人数	5	6	3	14

表 1 のア～ウで 4 人なので、中国語を話せる人があと 1 人いることとなりますが、韓国語を話せる人はアとイの 3 人のみで、中国語とスペイン語の両方が話せる人はアとウですべてなので、残る 1 人は中国語のみとなり、これを表の (エ) に加えます。

ア～エで、中国および韓国語を話せる人についてはすべてとなり、スペイン語が話せる人は 3 人ですから、残る 3 人はスペイン語のみ話せる人とわかり、これを表の (オ) に加えます。

これより、ア～オで計 8 人ですから、残る 2 人はいずれも話せないことがわかり、これを (カ) とし、表 2 のようになります。

表 2

	中国語	スペイン語	韓国語	人 数
ア	○	○	○	2
イ	○	×	○	1
ウ	○	○	×	1
エ	○	×	×	1
オ	×	○	×	3
カ	×	×	×	2
人数	5	6	3	14

これより、選択肢を検討すると、正解は肢 1 となります。

正解 1